

ところ

県P連だより

編集 徳島市北田宮1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

明るい未来に向けて

会長 井本友子



会員の皆様、
活動にご参加、

ト一に歩んでまいりました。今
作るのは今ということになります。
創るのは今と云うことになります。
どんな時でも前向きな気持ち
を忘れず、一歩また一歩と積

み重ねた今が未来を切り開いて
います。そんな私達大人の姿を
見て、子ども達が困難に立ち向
かえる強さをつけていってくれ
ればと思います。そして正の連
鎖を繋げて行くことが私達の使
命です。教育は一年や二年で完
結するものではありません。五
年、一〇年の長い月日を経て、
うまくいったと思えるものでは
ないでしょうか。目先のものに
囚われて、大切な成長の瞬間を
見逃さないよう付かず離れずの
ポジションを子どもとの間に
作っていきましょう。最後にな
りましたが、これからも楽しい
子育てができるよう共に頑張っ
てまいりましょう。

副会長 岩井 勝伸(板野)
蔭山 雅彦(那賀)
筒井 彰(吉野川)
上野弘一朗
(役員会推薦)

佐藤 央一
(役員会推薦)

先田 仁美
(役員会推薦)

尾川 和人
(県小学校長会代表)

香川 充
(県中学校長会副会長)

千代田裕樹(名西)
株田 昌明(小松島)

仁尾 修司(阿南)

福本 寛志(勝浦)

大塚 敏宏(美馬)

近藤 嘉男(三好)

林 誠(阿波)

江本 満(鳴門)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

白木 雄祐(海部)

江本 満(鳴門)

近藤 嘉男(三好)

大堺 敏宏(美馬)

岡田 圭司(つるぎ)

顧問 永瀬 浩幸(板野)

ブロック別PTA活動紹介

～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、海部郡P連、三好地区PTA協議会です。

南部ブロック 那賀郡PTA連合会の紹介

R3年度の郡P連球技大会
(会場:鷺敷中学校体育館)

会長 薩山 雅彦
那賀郡は、旧木頭村、旧木沢村、旧上那賀町、旧相生町、旧鷺敷町が合併して那賀町となり、那賀郡を形成しています。那賀郡PTA連合会の組織としては、町内の2つの中学校（鷺敷中学校、相生中学校）と3つの小学校（鷺敷小学校、相生小学校、平谷小学校）、さらに1つの小中一貫校（木頭学園）の計6校で構成されています。本町は、県内で最も面積の広い町なので、下流域の鷺敷地区から上流域の木頭地区まで、車で1時間余りを要するほど距離があります。そのために、各単Pが気軽に集まって何かの事業を行うというのは困難であり、郡P連としての活動は、どうしても限定されてしまいます。

少子高齢化や過疎化の影響は、本町においても大変深刻な問題であり、各学校の児童・生徒数は年々減少の一途を辿っています。ちなみに、令和3年度の児童・生徒数は、木頭学園29人（21世帯）、平谷小学校11人（8世帯）、相生小学校87人（60世帯）、相生中学校52人（48世帯）、鷺敷小学校128人（93世帯）、鷺敷中学校66人（61世帯）となっており、保護者の中には、学校が廃校となり、自分の母校が郡内から消えていくという悲しい現実に直面している方も多いいるようです。

人数は少ないのですが、保護者の方々は学校の教育活動に理解があり、PTA活動にも大変積極的に関わってくださる方が多くいて、会長として大変心強く思います。それぞれの単Pには、各専門部会を設置し（例えば鷺敷中学校では、「広報委員」「人権委員」「スポーツ委員」）、さまざまな事業を実施しています。郡P連としての活動は、役員会や総会等の各種会合の他は、毎年7月に「郡P連球技大会」（ミックスソフトバレーボール）を実施してきました。郡P連の大会前には、各中学校校区内の小中学校単位でのブロック別の活動として、球技大会の練習会や賞状やトロフィー等を用意した地区大会を行い、会員さん同士の親睦を深める等、意欲的に活動して

くれております。このように、毎年の夏の恒例行事として、各単P毎に熱心に球技大会を盛り上げてくれていますが、昨年



度末の役員会で、「これまで長年行ってきた球技大会にこだわらず、PTA会員同士の親睦を深めることのできる今までとは違った交流活動を郡P連事務局が提案し、実施してはどうか？」という意見も出されました。R3年度は、鷺敷中学校が郡P連の事務局ということもあり、役員会等で何回か協議を重ね、「球技大会」に替わる新しい交流・親睦の深め方を模索してみましたが、結局従来通りの「球技大会」を行うということでおち着きました。新しいことを立ち上げるには、アイデアと組織力および実行力等、相当なエネルギーが必要だとあらためて実感した次第です。残念ながら、本年も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、総会は文書によるみなし開催となり、「郡P連球技大会」も、苦渋の決断でしたが、2年連続で中止という判断をせざるを得なくなりました。何かしらの感染症対策を施しても、できることをやろうというご意見もありましたが、安全・安心な活動を提供できる保障がありませんでした。来年こそは、郡P連の会員さんが一堂に会して、相互の親睦が深められる活動ができるよう、1日も早いコロナの収束を心から願ってやみません。

最後に、那賀郡の各小中学校は、その多くがへき地指定の小規模校です。どの学校においても、学校行事をはじめとする様々な教育活動や地域活動にPTAの主体的な関わりは必要不可欠であり、PTAは常に、学校・子どもたちとともに歩み続けています。少子化の進む今だからこそ、PTA活動の意義や役割は大きく、各単Pによる地道な活動が、これから那賀町の将来を左右すると言っても過言ではないと思います。そのような思いを会員みんなで共有し、諸先輩方から受け継がれてきた地域のコミュニティ力を最大限に生かしながら、持続可能で未来につながるPTA活動に取り組んで参りたいと思います。

那賀町のキャラクター
「ゆづばあちゃん」

徳島県PTA連合会

小・中学生総合保障制度
自転車総合保障制度団体契約で
割安な掛け金充実した
健康相談サービスオンラインや
電話で簡単請求

詳しい内容は
パンフレットを
取扱代理店に
お問い合わせ
ください

※2021年12月現在の内容です

【取扱代理店】株式会社 TIS&トータルプランニング 〒770-0852 徳島市徳島町2-22 TISビル2F
TEL:088-622-7151 受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、年末年始を除く）担当：奥野・山田

【制度引受保険会社】AIG 損害保険株式会社
S-220243

西部ブロック つるぎ町PTA連合会

会長 岡田 圭司

つるぎ町PTA連合会つるぎ町内の小学校3校(貞光、太田、半田)、中学校2校(貞光、半田)の5校で構成されています。

例年であれば総会、役員会、研修会、親睦球技大会等を実施しておりますが、昨年度、本年度は新型コロナウイルスの影響により十分に実施しておりません。

PTA連合会のご紹介に変えて、各校のコロナウイルス感染防止についてご紹介いたします。

貞光小は、基本の感染症対策徹底を行っています。不織布マスクを推奨し、鼻と口をしっかりと覆うことや手指の消毒を入念にそしてその頻度を上げること、ソーシャルディスタンスをしっかりと取って様々な活動を実施すること等に取り組んでいます。また、各クラスで給食は黙食で行い、人数の多い学級は別室を使用して密にならないようにしています。職員室の机の間には、ハンガーラックに半透明の袋を被せた仕切りを設けて、隣同士の接触がより少なくなるように配慮しています。式典や朝会等はリモートで実施しています。



太田小は、児童数3名と職員4名の小規模校であるため、密の状態になることは考えにくいのですが、コロナ感染防止対策は講じています。こまめな手洗い・うがいとアルコールによる手指消毒の慣行やマスクの着用、換気を常時行っています。施設に関する対策としては、毎朝校務員さんが人の触れる場所(玄関のノブや階段の手すり、各箇所の戸)の消毒殺菌と廊下や窓の清掃を担当してくれています。また、給食時においては、食事前後のテーブル等のアルコール消毒と清掃を行い、全員前を向いて静かに食べています。



半田小では、「三密の回避」や「マスクの着用」、「手指消毒」等の他、次のような取組を行っています。手指消毒液(玄関や各教室)や各手洗い場の自動水栓の設置、また職員による教室内の消毒作業や、スクールサポートスタッフに依頼してトイレや廊下、手すり等の消毒を毎日していただいている。次に、今年度から朝会や終業式は、オンライン形式で実施し、密集を避けるよう努めています。

貞光中では、手洗い・手指消毒・うがいの徹底、マスクの常時着用等の基本的な感染防止対策を行っています。他にも、時間差をつけての歯磨きや全校集会の際のソーシャルディスタンスの確保に努めています。また、スクールサポートスタッフによる学校全体の消毒や教室への空気清浄機の設置等で環境に関する対策を行っています。さらに、理科・技術等の実験や実習の少人数化を行うなどの工夫もしています。

半田中学校は、三密を避ける、マスクの着用、うがい・手洗いの徹底などをしています。

また、手洗いの際に十分な間隔をとるため蛇口を一つ開けて自動水栓を取り付け、自動水栓のみを使用しています。他にも自動消毒液ディスペンサーの設置等手厚く設備を整えてもらっています。



また、小規模校であることを生かして歯磨きは学年別に違う手洗い場で行っています。また、生徒が自分の机・イスの消毒を帰りに行うことで、感染防止に対するいい気が高まるように取り組んでいます。



「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～家庭で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

令和3年度 三行詩コンクール 徳島県優秀作品

中学生の部

文部科学大臣賞受賞

減ってしまった父との会話
二人きりで将来を語る 勉強の20分間
いつも送迎ありがとうございます

阿波市立阿波中学校3年 木南 啓来

阿波市立阿波中学校3年 木南 啓来

「いってらっしゃい」の父の振る手
見ないふりして チラッと見てる
心中で「行ってきます。」

阿波市立阿波中学校2年 吉成 健吾

「産まれててくれてありがとうございます」
心にひびくこの一言

阿波市立阿波中学校3年 國貞 和桜

僕が小さいとき母さんともめた日があった。そのときぼくは、早く仲なおりしたいと思って
小さく切った紙に「ごめんなさい」と書いた。
その次の日、お母さんはおこらなかつた。
そして、ぼくが書いた紙をかばんの中に大切に
もっていました。

阿南市立福井中学校2年 高鶴 周

毎朝「気をつけて行きなよ！」と手を振り見送る母
恥ずかしく逃げるようこそぎだす自転車
振り返るとまだ手を振つてくる母の姿にさらに加速

阿波市立阿波中学校2年 藤井 小春

家庭教育研修会

1月16日(日)徳島県教育会館にて、県P連家庭教育研修会が開催されました。研修に先立ち、中学生の部で文部科学大臣賞を受賞した三行詩コンクールの県内優秀作品の表彰式とPTA広報誌コンクールの表彰式が行われ、井本県P連会長から賞状と記念品が受賞者に贈されました。

研修会は、県総合教育センター GIGA スクール推進課の方を講師にお招きし、第一部「徳島県 GIGA スクール構想について」では、情報モラル教育を啓発同時で行うことの大切さを教えていただきました。第二部「一人一台端末を使って実現する学び」では、タブレットを用いた授業の実例からプログラミングの思考を育む教育の現状について知ることができました。

学びを広げる！ 徳島県GIGAスクール構想



徳島県教育委員会学校教育課 学力向上推進幹

齋藤 大輔 さん

Q1. GIGAスクール構想とは何ですか？

- A. 今や職場や家庭など、社会のあらゆる場所でパソコンやタブレット、スマートフォンなどの活用が日常のものとなっています。学校においても、子どもたちがSociety5.0時代を生き抜く力を育成するため、1人1台端末を活用して、これまでの学習をより深めたり、子どもたちの個性を伸ばす教育や創造性を育む教育を、持続的に実現させることにしました。これから時代に生きていく子どもたちが、鉛筆やノートと同じように「自分専用のパソコンやタブレット」を持ち、授業や家庭学習で活用する環境を整えていくというものです。

Q2. 家庭におけるサポートはどうすればいいですか？

- A. タブレットを自宅に持ち帰り、宿題等で活用する場合もあると思いますので、家庭での通信環境の確保や学習活動にタブレットを利用することに関してご理解・ご協力をいただけますようよろしくお願ひいたします。

また、ご家庭で気を付けていただきたいこととして次の4点について、

 - ①学校で配られた端末は、学習で使用することを目的としています。私的な使用をしないようにしましょう。
 - ②少なくとも、寝る1時間前からは、デジタル機器の利用を控えるようにしましょう。
 - ③目から30cm以上離し、時間を決めて使用し、休憩時に遠くを見るなど、目を大切にしましょう。
 - ④長時間使わないよう、家庭で使う時間を決めましょう。

特に、小学校低学年のお子様には、ご家族の方と一緒に使用していただきますようお願ひいたします。

特に、小学校低学年のお子様には、ご家族の方と一緒に使用していただきますようお願いいたします。

Q 3. 家庭での安全なインターネットの使用方法やスマートフォン等の適切な活用について教えていただけますか？

- A. 様々なトラブルから子どもたちを守るために、ご家庭でもルール等を決めておく必要があります。
例えば、「セキュリティーソフトをインストールする」「フィルタリングをする」「夜間は不要不急でない通信はしない」「約束した時間以降は使用させない」「知らない人からのメールは開かない」などのルールづくりが自分自身を守ることにもつながることを日頃からご家庭で話し合っていただきますようお願いいたします。

【関連サイト】

- 文部科学省
StuDX Style (スタディーエックス システム)
1人1台端末の活用事例が公開されています。



- 徳島県情報モラル教育サポートサイト

情報モラルに関する情報が公開されています。



- スマートフォン等の安全で安心な利用のために
情報端末を安心・安全に利用するための情報が
公開されています。



～齋藤学力向上推進幹からのメッセージ～

ここ数年、子どもたちを取り巻く教育環境は、大きく変わってきました。タブレットの活用もその一つだと思います。そのような中、子どもたちは、タブレットの操作に慣れるのが早く、様々な学習アプリを使いこなして学習活動等を行っています。その様子を観ていると、子どもたちの可能性は、本当に無限であると感じる場面が多くあり、大変頼もしく感じました。

その背景には、ご家庭で子どもたちを見守り支えていただいている保護者の方々のご理解・ご協力があったからだと思います。

これらの時代、新たな通信機器やアプリ等が開発され、より便利な時代となっていくと思いますが、社会のデジタル化が進んでも、学校・地域・家庭・子どもたちをつなぐのは、機器等ではなく、優しさや思いやり、励ましといった、お互いの心と心のつながりが重要であると考えています。未来の宝である子どもたちの成長にこれからも御協力をお願いいたします。

